


# 荒瀬ダム撤去工事及び 環境モニタリングの状況等について

平成26年2月7日  
企業局荒瀬ダム撤去室



# 平成25年度 工事計画の概要

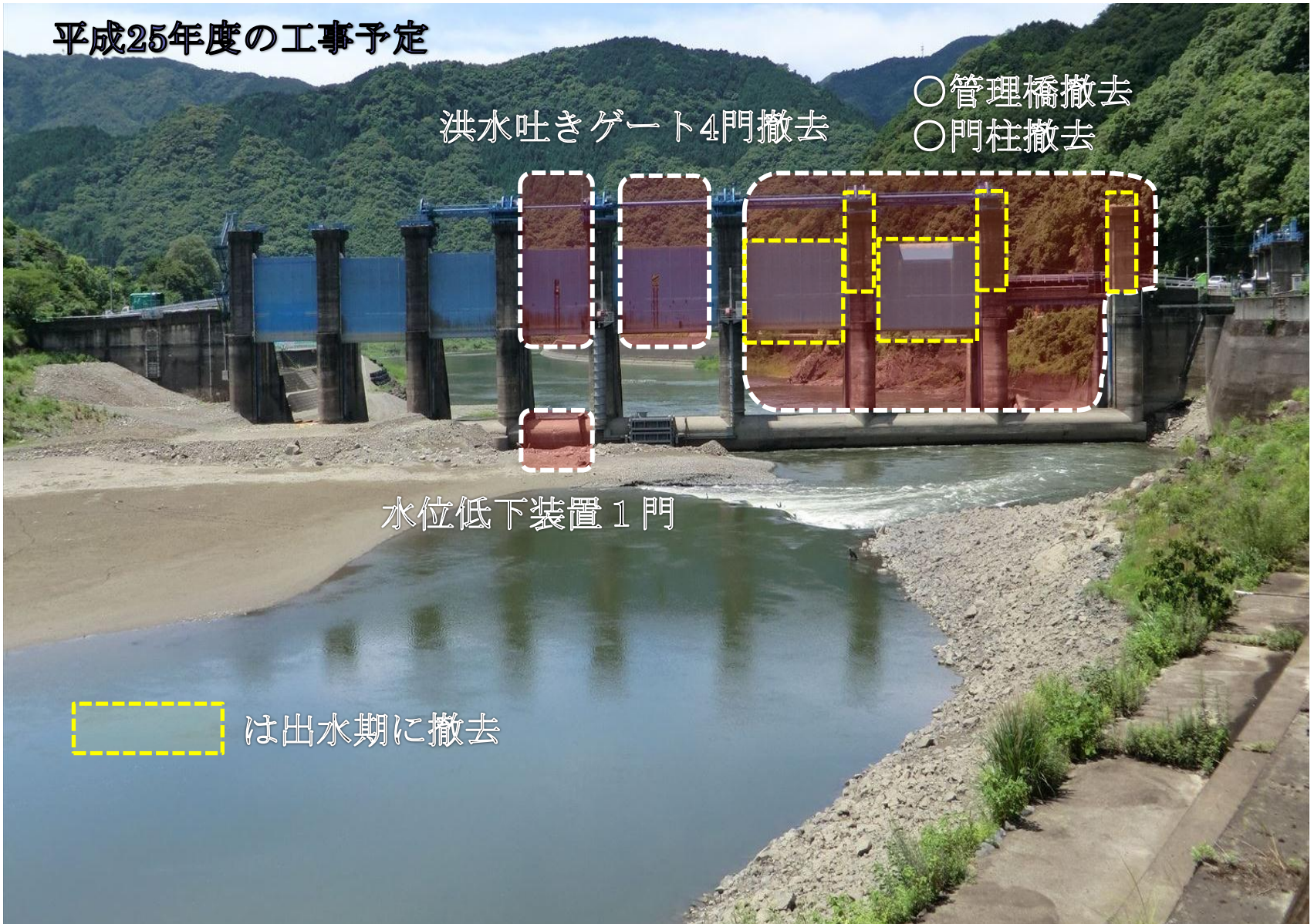
平成25年度の工事予定

洪水吐きゲート4門撤去

- 管理橋撤去
- 門柱撤去


水位低下装置1門

は出水期に撤去



# 平成25年9月11日 門柱上部の撤去（第9門柱）試験発破

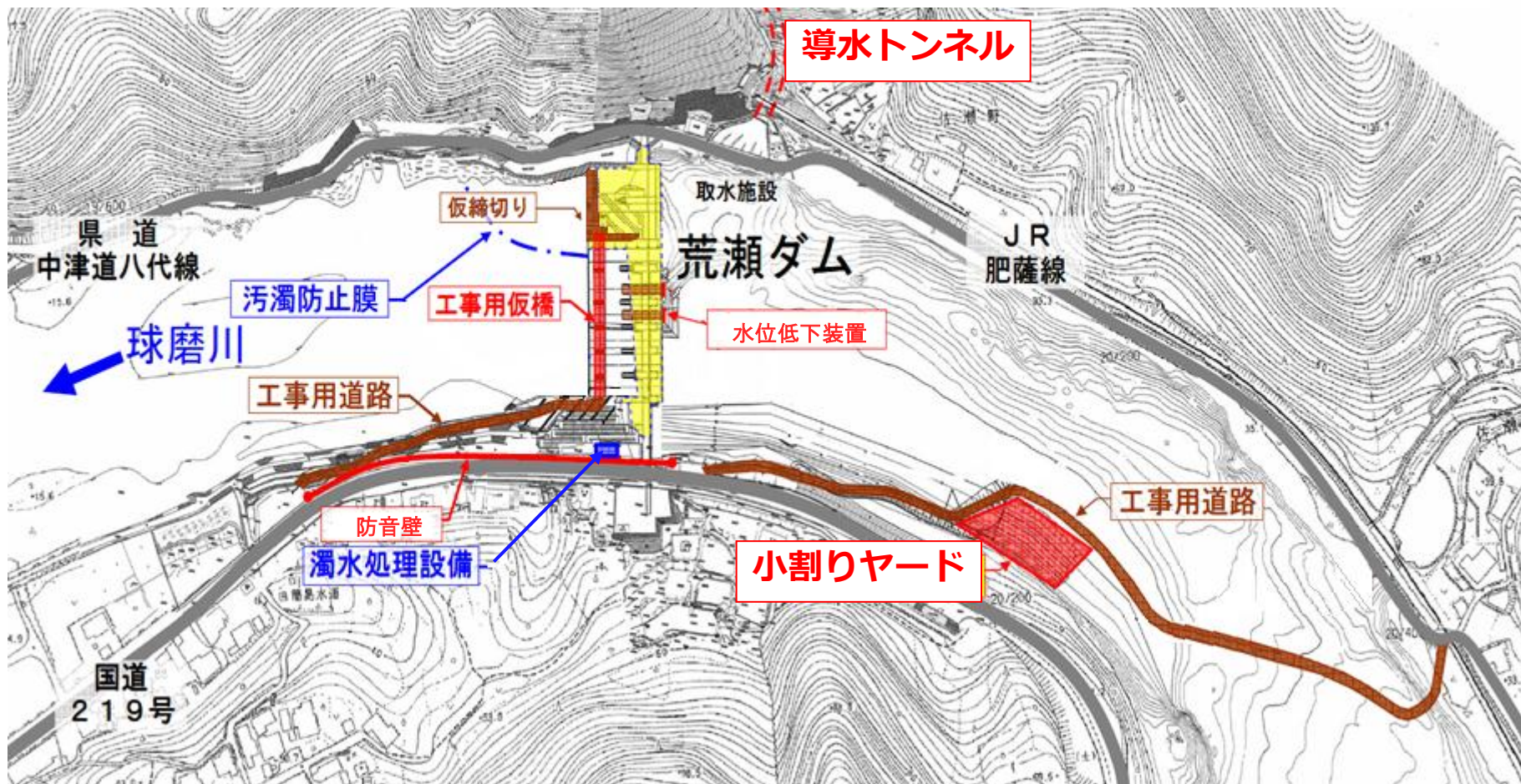




平成25年度  
非出水期の施工(11月～)

## 施工計画（旧計画）

- ダム下流側からダム本体を撤去する計画

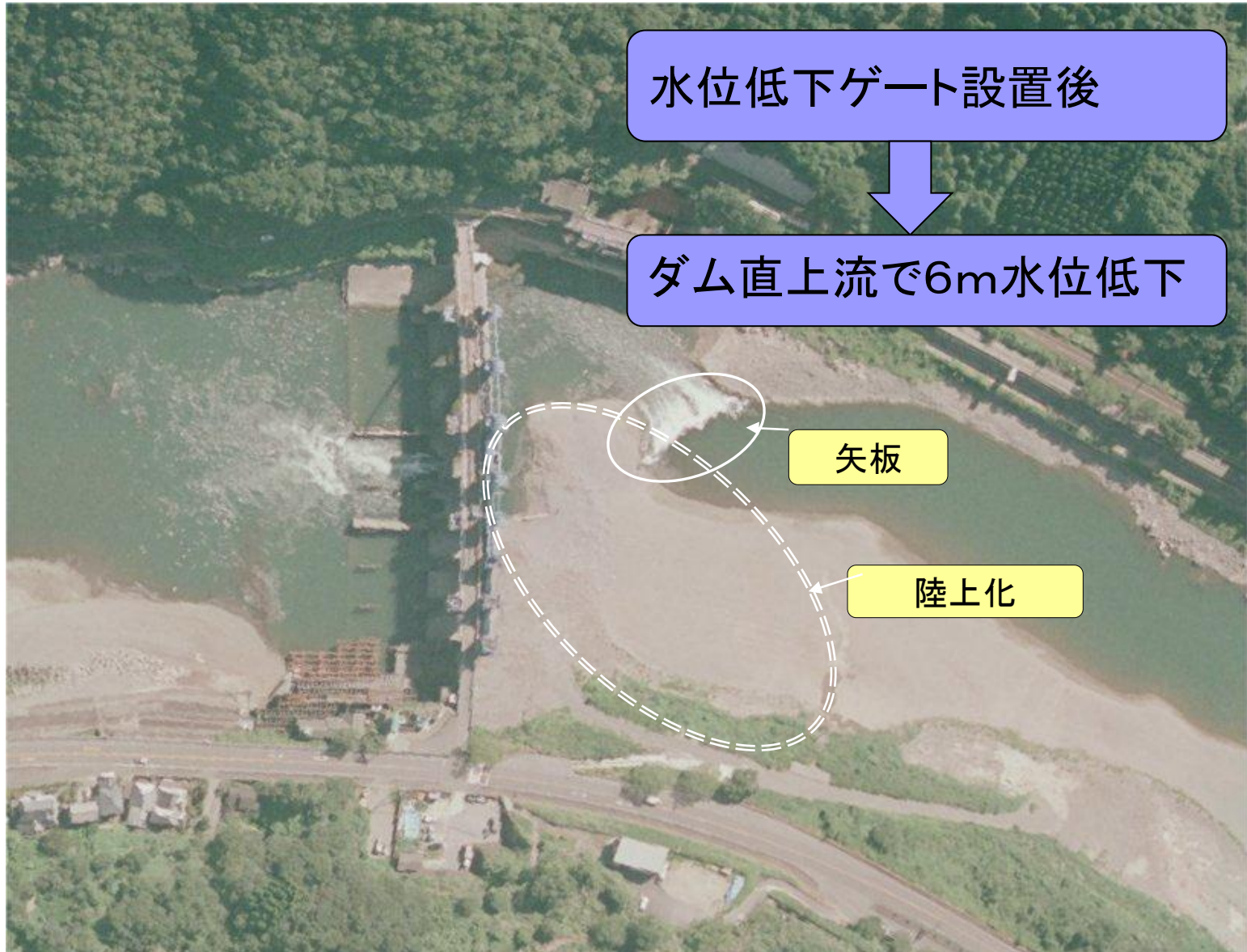


## 水位低下前の河川状況



水位低下ゲート設置前

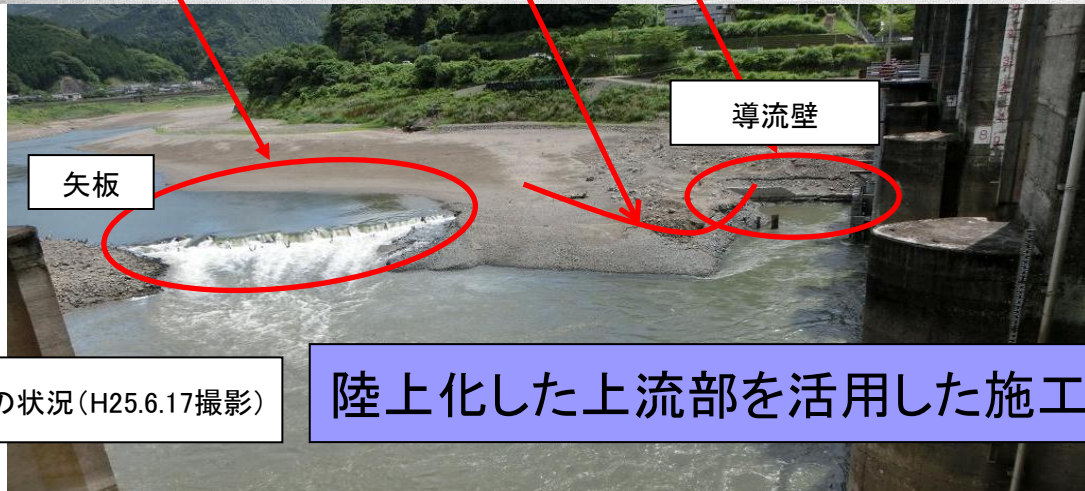
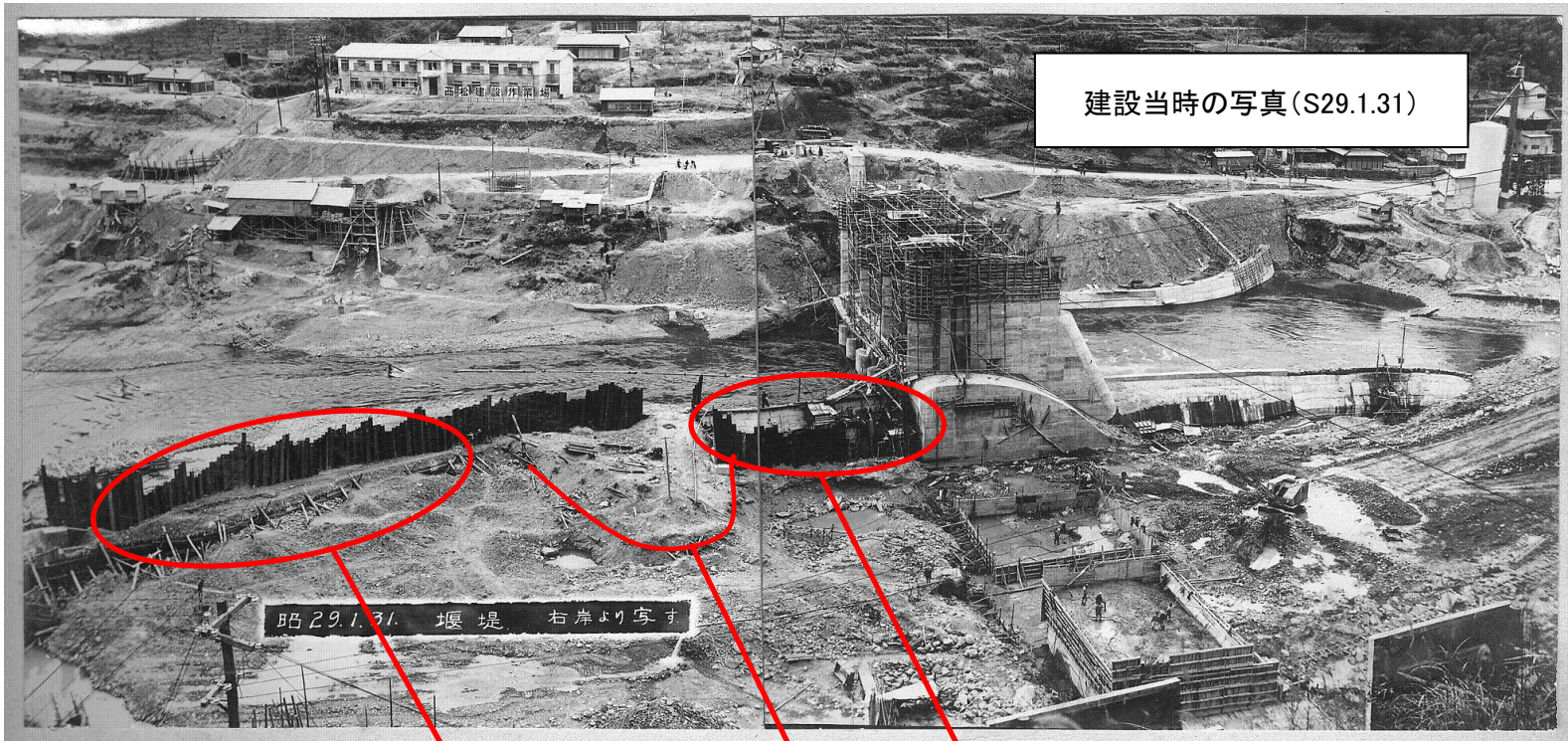
水位低下後の河川状況 : ダム上流側は陸上化し、矢板が露出





# 水位低下後の河川状況

# 建設時の矢板等により直上流が陸上化

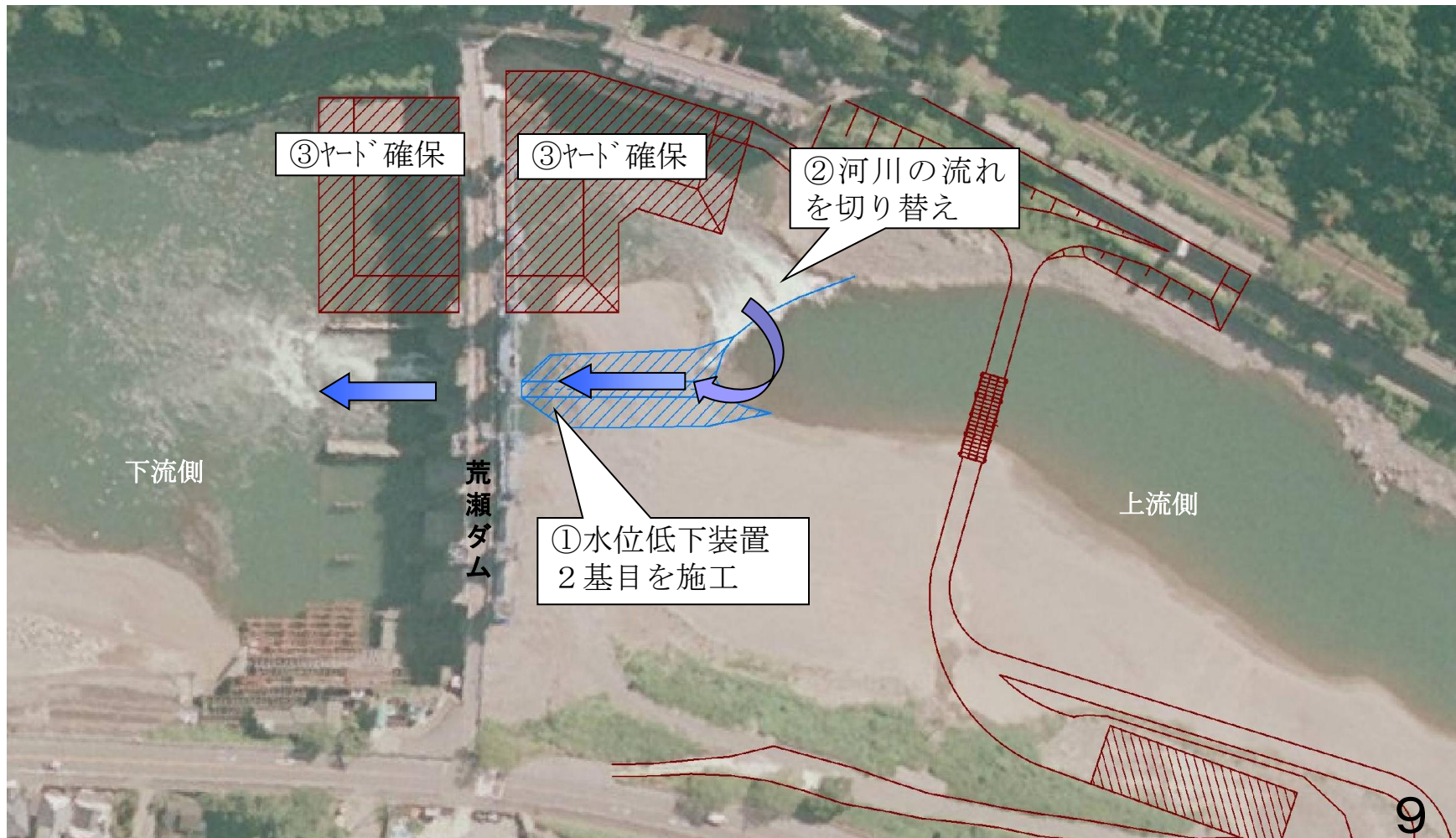


水位低下の状況 (H25.6.17撮影)

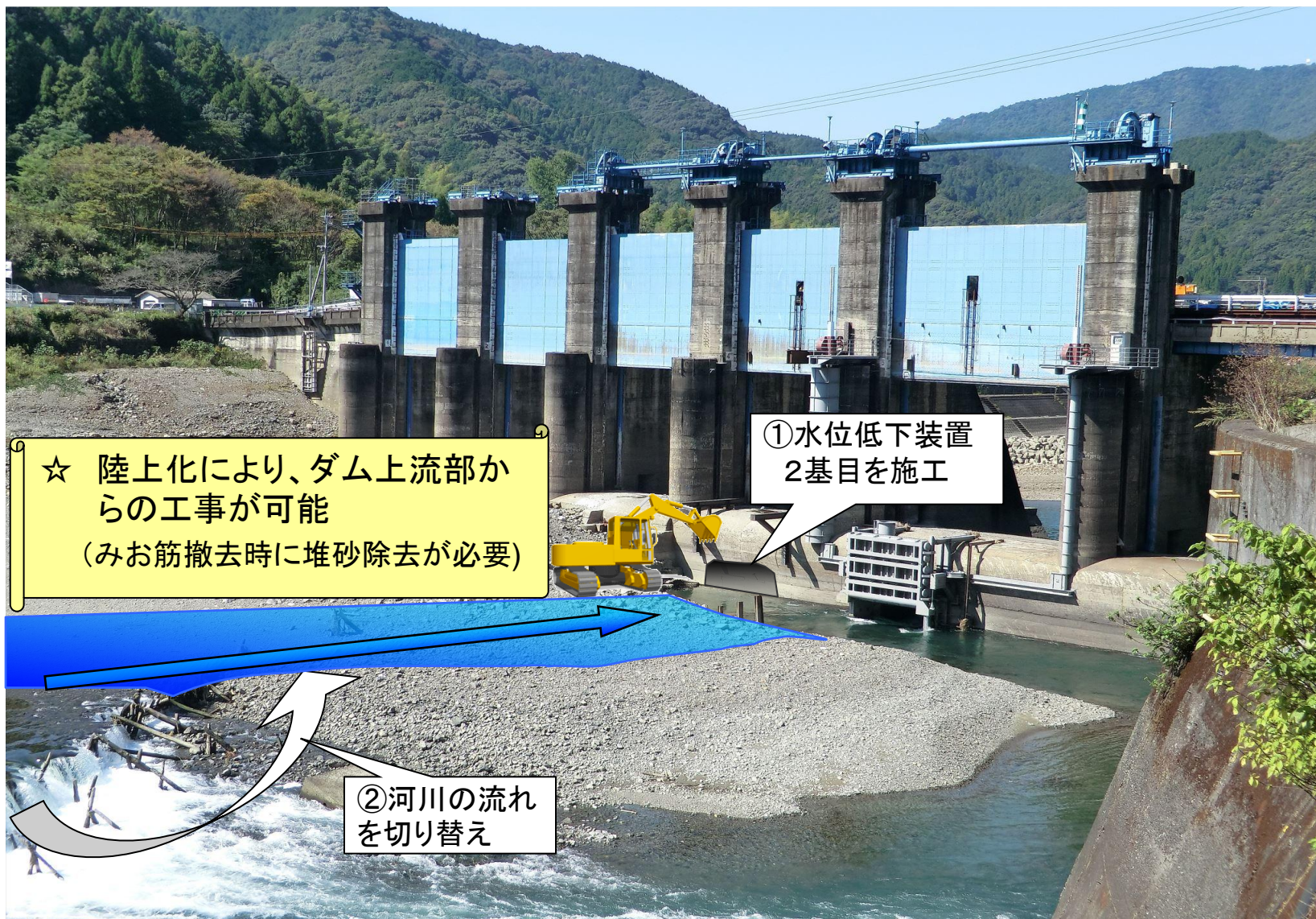
陸上化した上流部を活用した施工へ

## 非出水期の工事予定

- ①水位低下装置の2基目を施工、
- ②ダム上流の流れを河川中央部に切り替え、
- ③ダム上・下流の河川内に施工ヤードを確保し、
- ④門柱部を撤去



## 【施工作业イメージ】



水位低下装置2基での流況



H25.11.19

## 【施エイメージ】



②河川の流れ  
を切り替え

佐瀬野の砂礫を  
利用

③ヤード確保

平成26年1月(倒壊発破前)



## 門柱部の撤去

### ○門柱の発破手順について

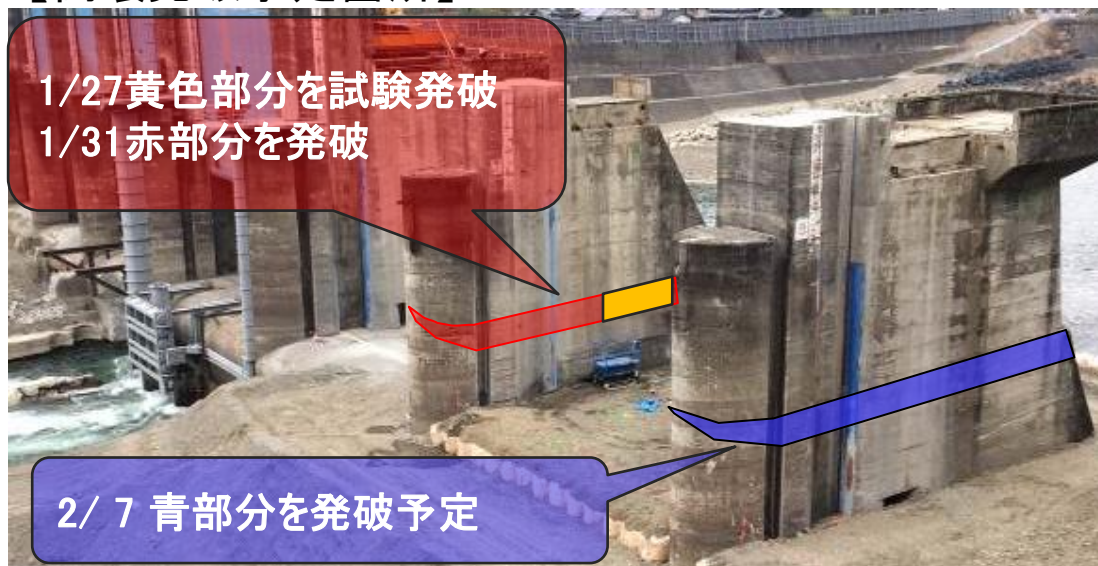
#### ①倒壊発破

クレストから約5mの門柱部分（写真の赤色の部分）を発破し、門柱を施工ヤードに倒壊

#### ②小割り発破

施工ヤード上に倒壊した門柱を制御発破で小割り

### 【倒壊発破予定箇所】



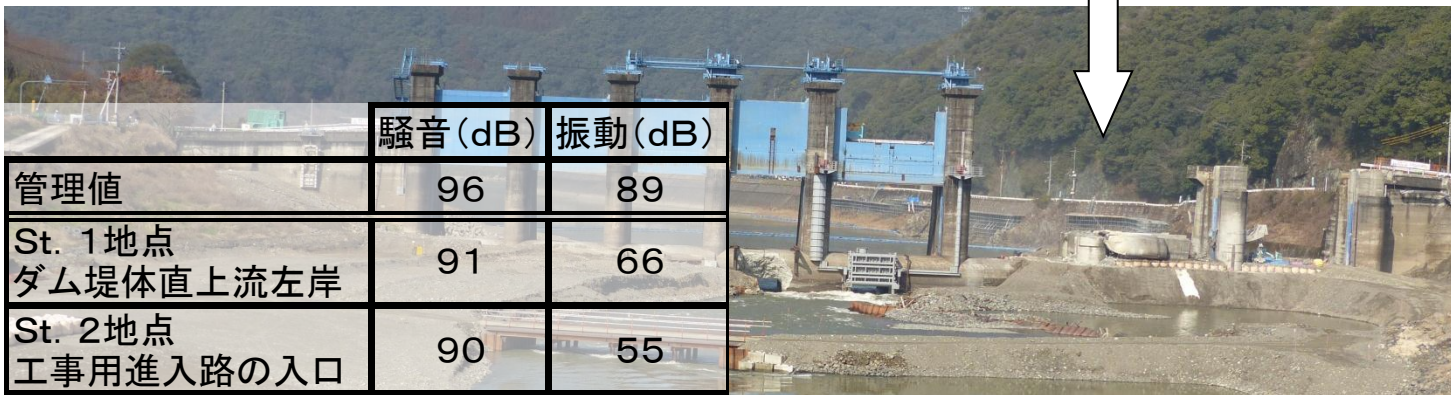
## ○倒壊発破（イメージ図）



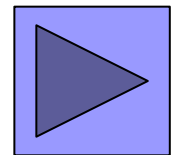
## ○小割り発破（イメージ図）








	騒音(dB)	振動(dB)
管理値	96	89
St. 1地点 ダム堤体直上流左岸	91	66
St. 2地点 工事中進入路の入口	90	55



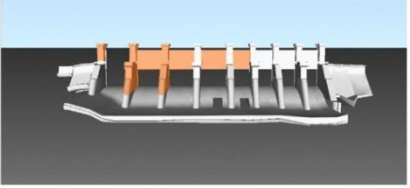
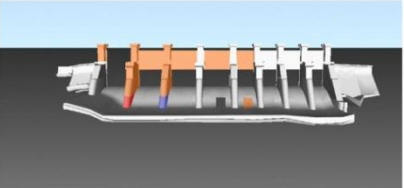
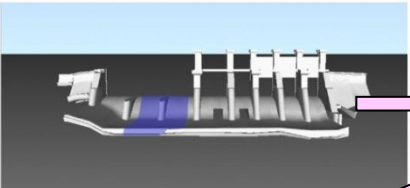
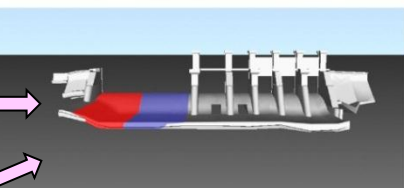
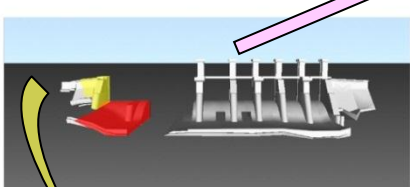
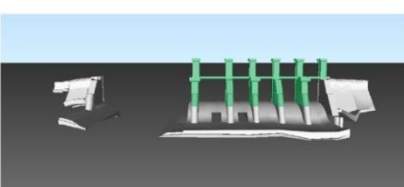
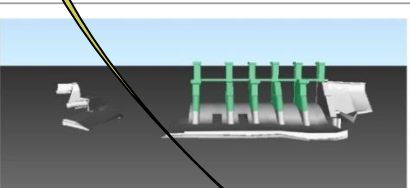
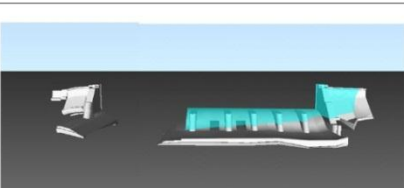
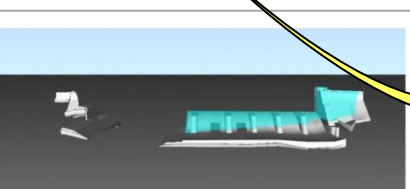
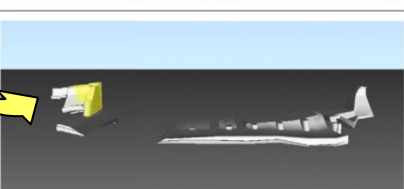




# 撤去手順の見直し

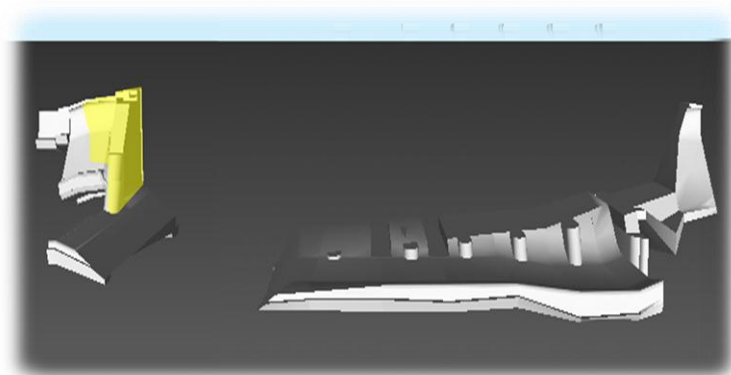
(平成26年度以降)

# 撤去手順の見直し

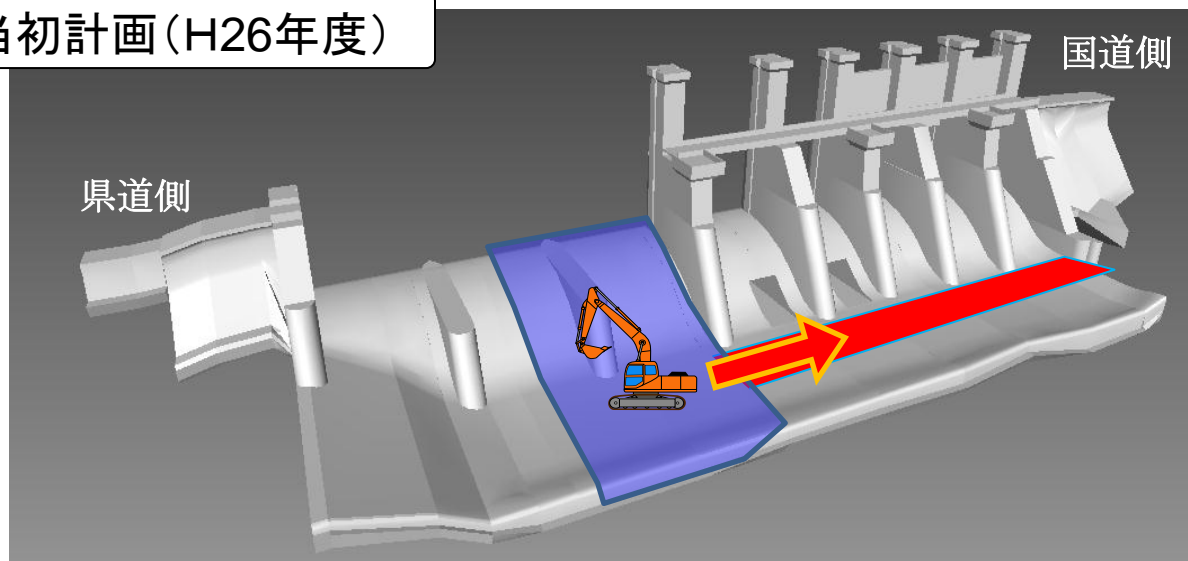
年度	現計画	見直し案
H25年度		
H26年度		
H27年度		
H28年度		
H29年度		

## 撤去手順の主な見直し計画案

見直し計画(案)	当初計画(段階No.)	備考
H25年度	第2段階(H25)	右岸門柱
H26年度	第3段階(H26)	右岸みお筋部越流部
	第4段階(H27)	右岸端部越流部
H29年度	第4段階(H27)	右岸非越流部

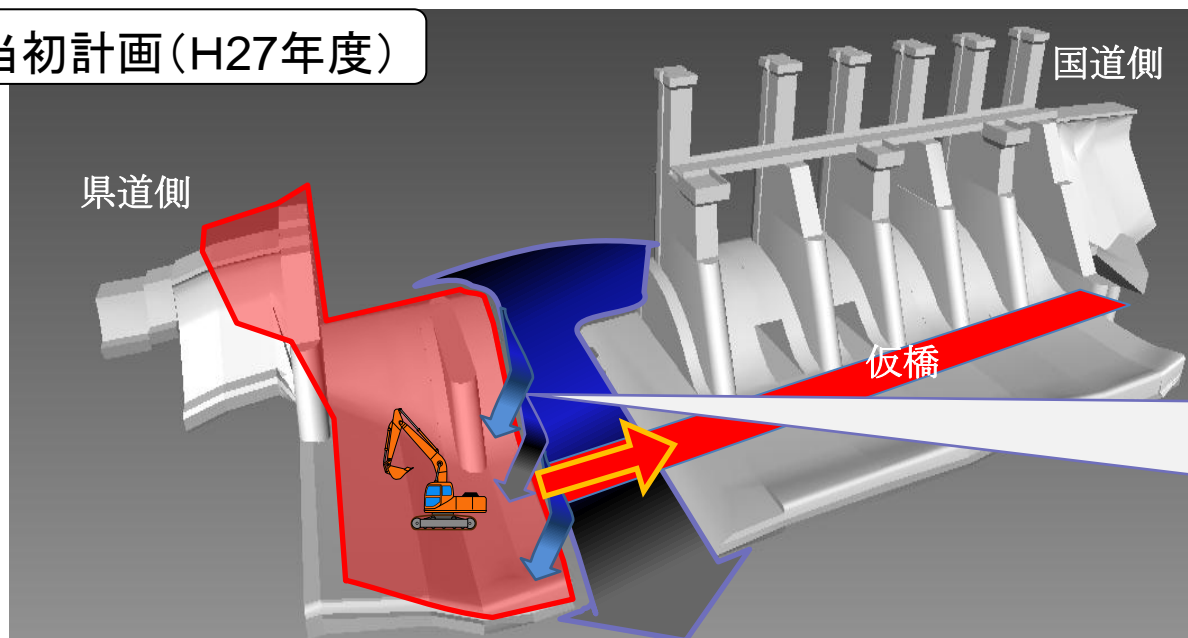


## 当初計画(H26年度)



下流側から施工し、2カ年に分けてみお筋部を撤去する計画

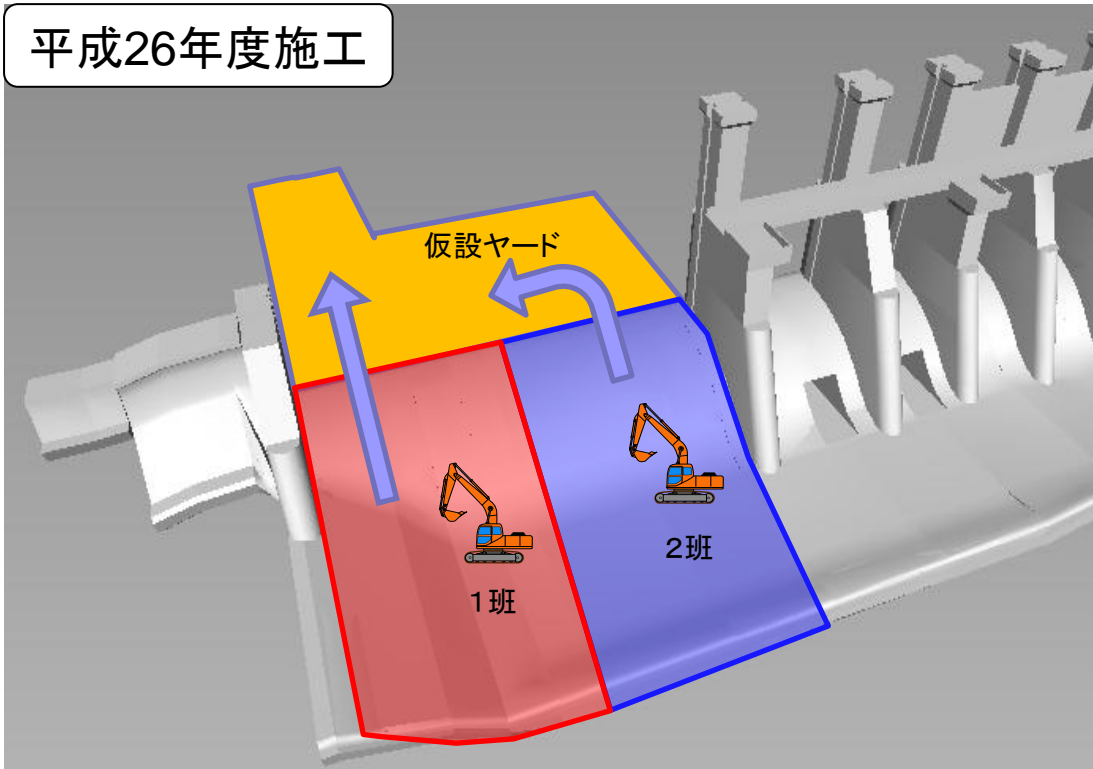
## 当初計画(H27年度)



みお筋撤去後は水流が強く仮締め切りによるヤードの安全確保が困難

# 施工計画（見直し案）

平成26年度施工



上流側から施工することで、

- ・作業スペースが広く確保できる
- ・搬出の運搬距離が減る

作業効率が増す

## 撤去手順

上流工事用道路を設置

仮設ヤードを整備

発破による取り壊し

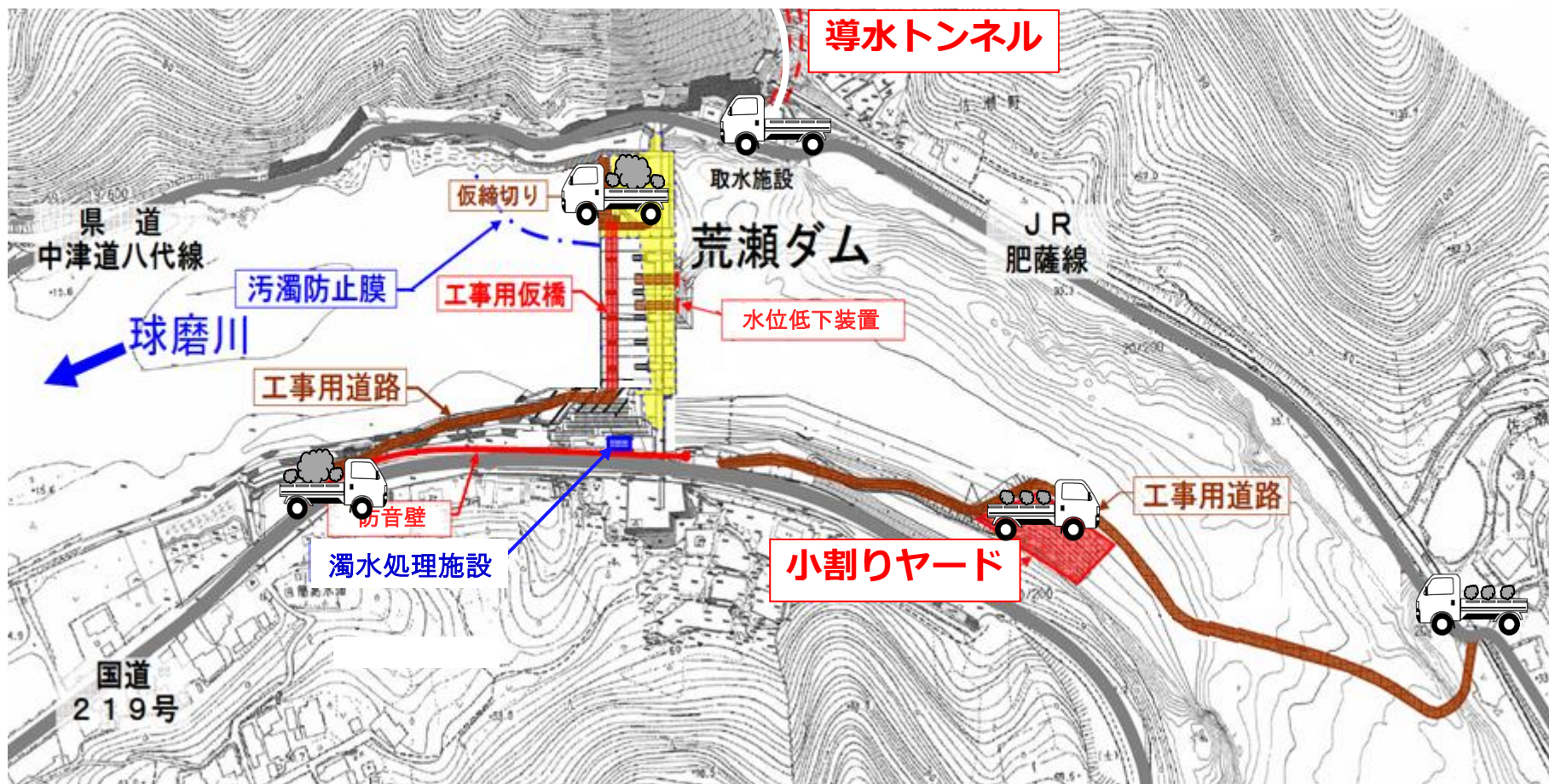
コンクリート撤去殻は  
工事用道路を利用し搬出

導水トンネルへ埋戻す

1カ年でみお筋部を撤去

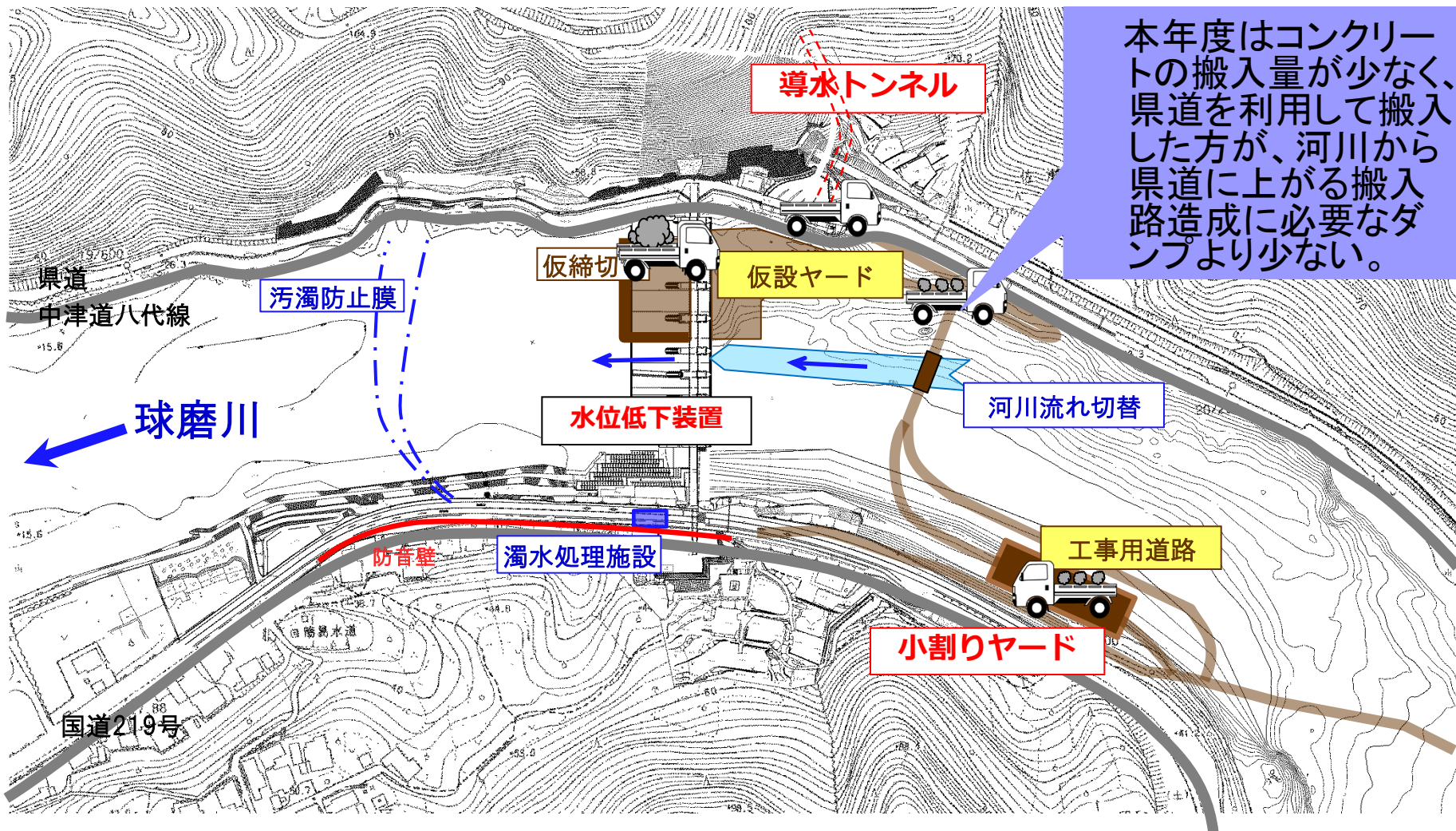
## 施工計画（従来の計画）

- ダム下流側からダム本体を撤去する計画



# 施工計画（見直し案）

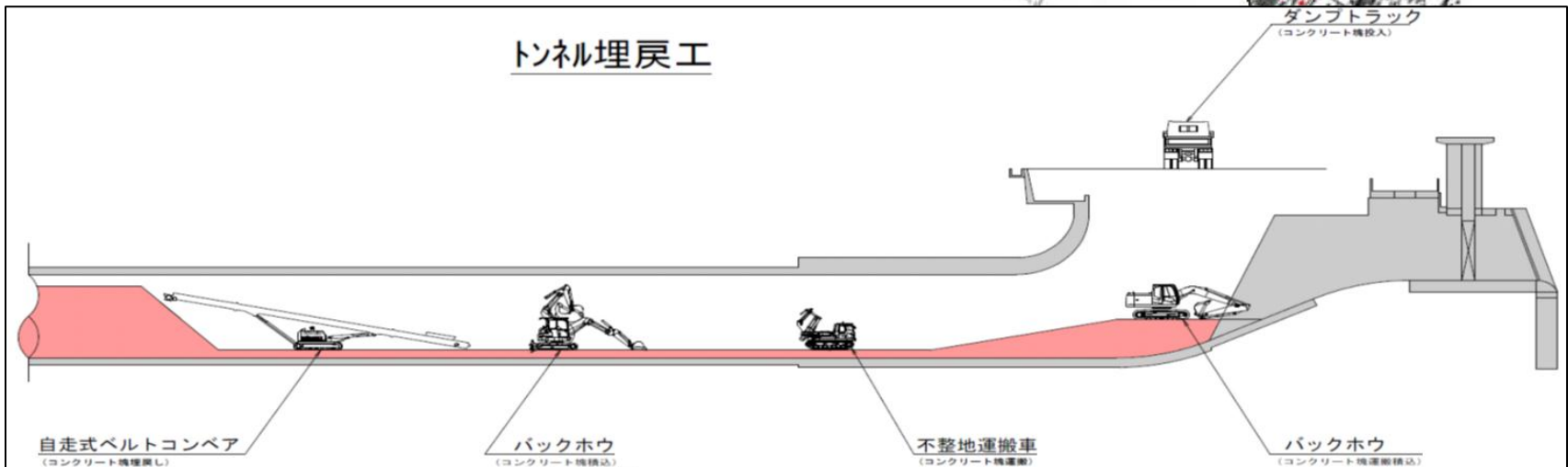
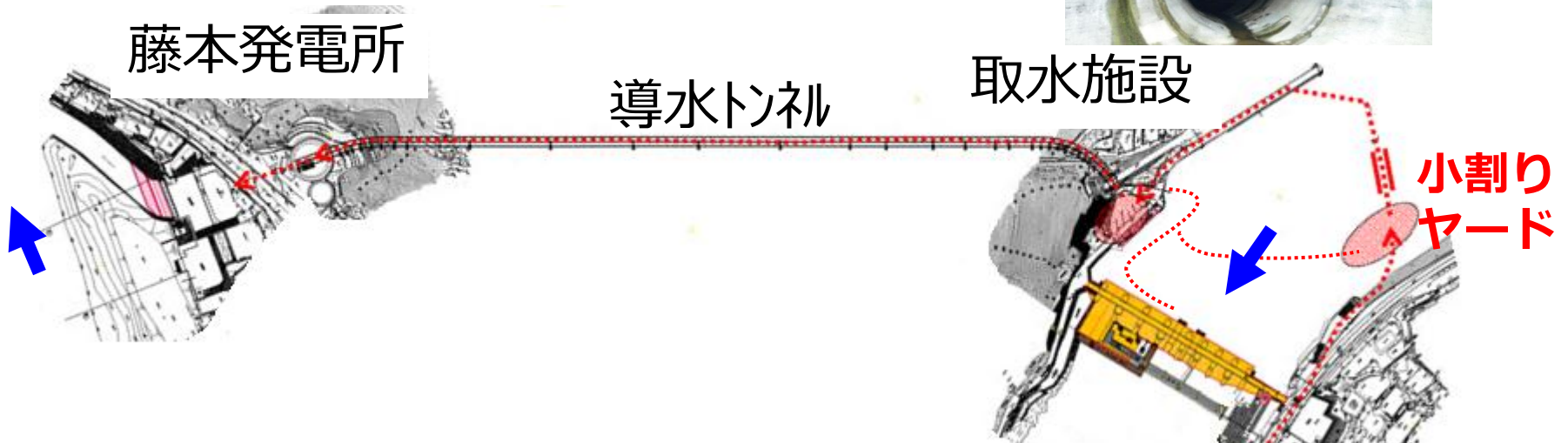
- ダム上流からの工事を実施





# 導水トンネルの埋戻し

- ・コンクリート塊は小割りし、導水トンネルを埋戻す





# 撤去関連工事

# ①荒瀬ダム堆砂除去工事

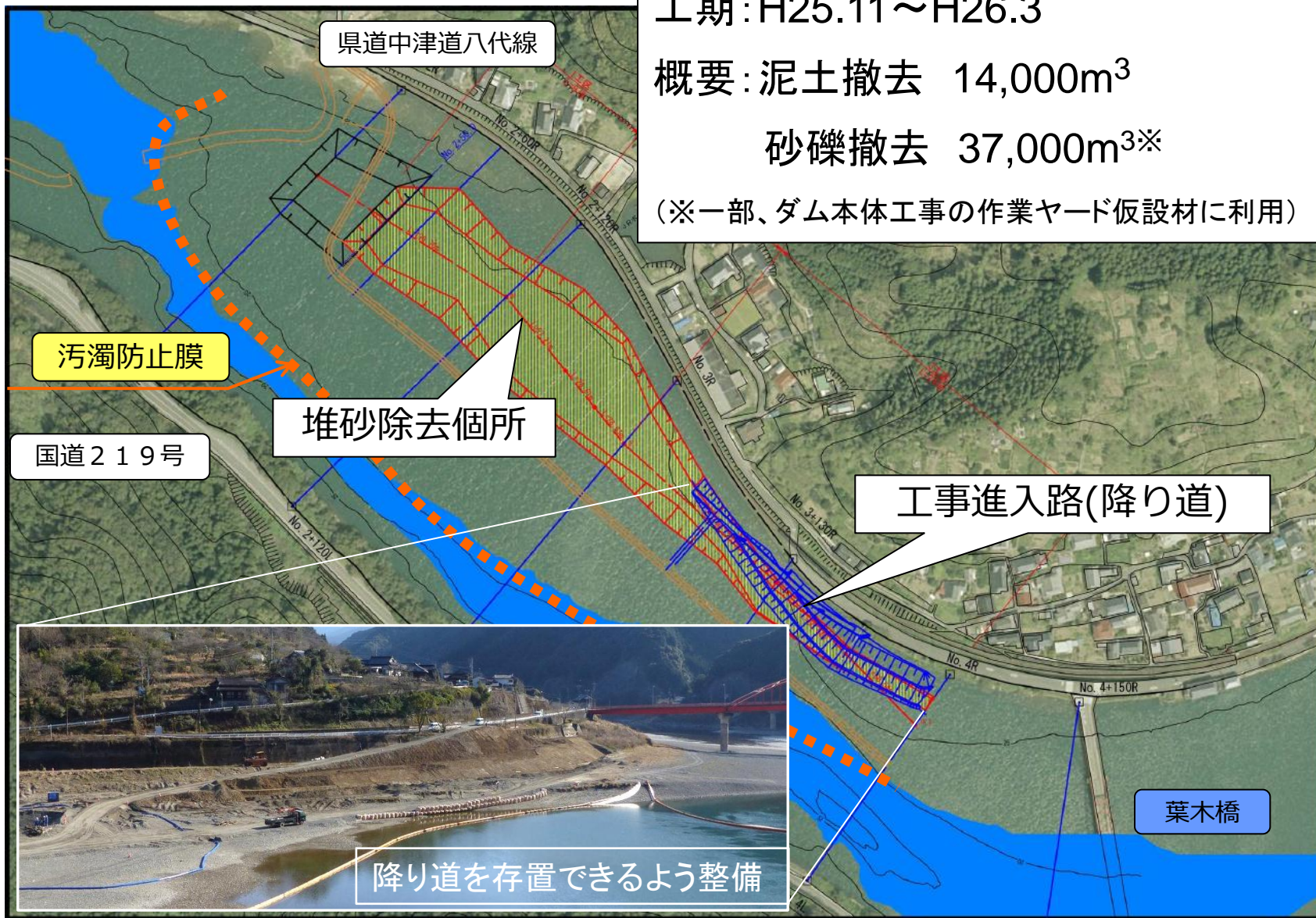
施工箇所：佐瀬野地区

工期：H25.11～H26.3

概要：泥土撤去 14,000m<sup>3</sup>

砂礫撤去 37,000m<sup>3</sup>\*

(※一部、ダム本体工事の作業ヤード仮設材に利用)



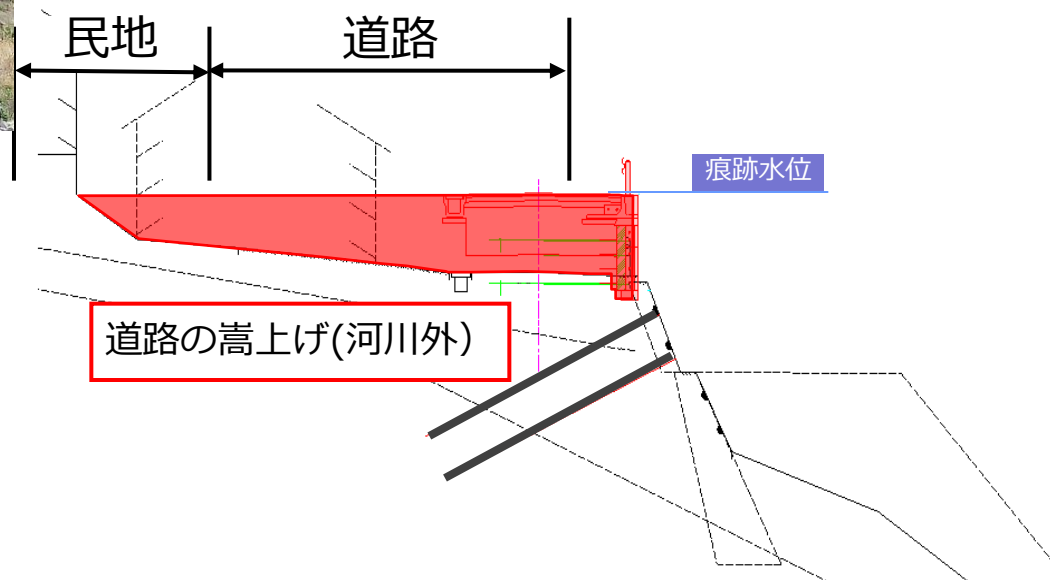
## ② 県道中津道八代線道路嵩上工事



施工箇所：下鎌瀬地区

工期：H25.11～H26.3

概要：道路嵩上、舗装 L=400m



## ②中津道八代線路側構造物補強工事



施工箇所：葉木地区

工期：H25.11～H26.3

概要：根継工 L=200m

吹付工 L=200m

水位低下後の  
擁壁洗掘箇所



## ダム下流の嵩上げ



## 葉木橋の付近の護岸補修



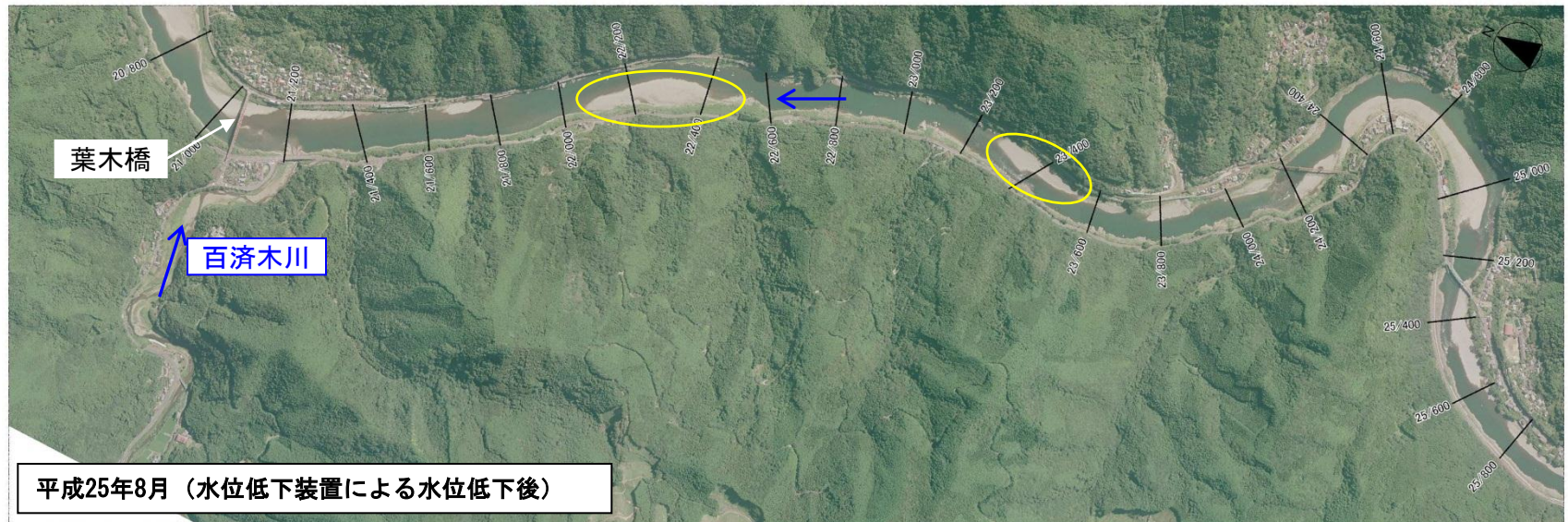
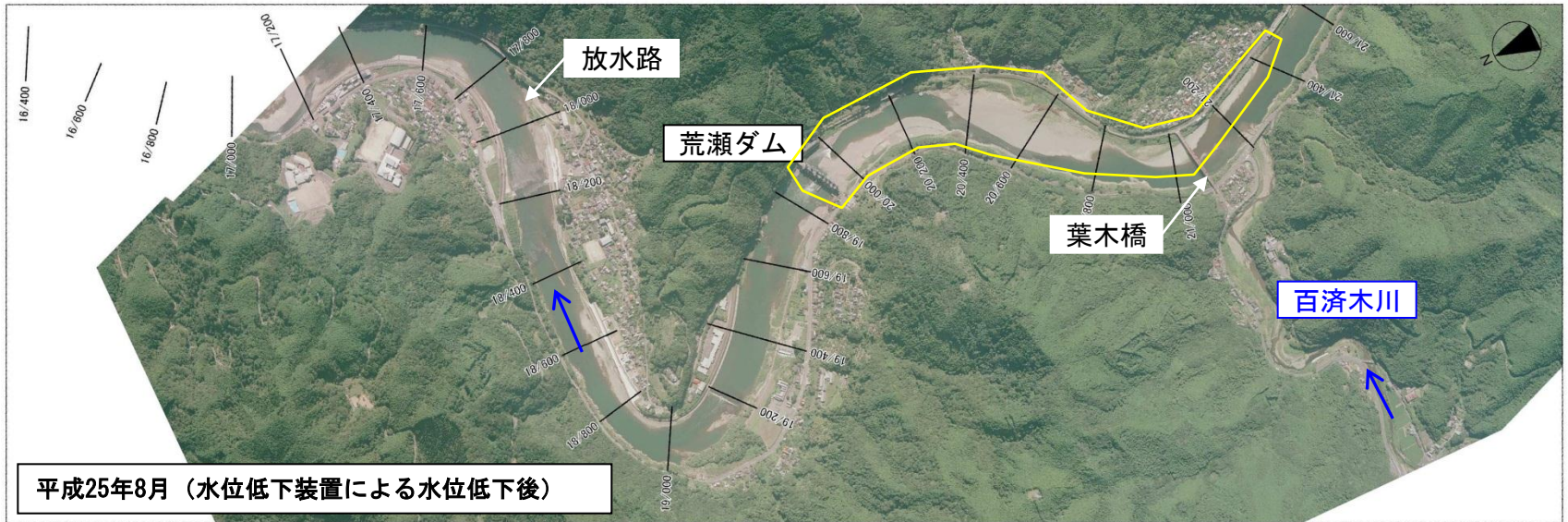
## 藤坂橋の補強工事



# モニタリング調査について

- ・水位低下後の状況

- 水位低下装置による水位低下後、第2流水回復区間で砂州の出現や瀬の形成が見られ、ダム建設前の河川地形が回復しつつある。





# 小又瀬付近



水位低下後  
(平成25年10月18日)



水位低下前  
(平成25年6月10日)



葉木橋

# 百済木川流入部

平成21年1月27日



水位低下前  
平成25年6月10日



平成22年6月8日



水位低下後  
平成25年10月16日

